

見方からの違い

一年七組 堀 智貴

みなさんは、自分が思っていることと他人の思っていたことが違っていったという経験はないだろうか。

左の図を見てみよう。まず男性と女性のカップルの絵が見えてくるだろう。しかし、この絵には、もう一人の人間が隠れている。どこにいるだろう。目を遠ざけて探してみよう。すると、一瞬のうちに、大きな赤ちやんが見えてくる。

このようなことは、日常生活でもよく当てはまる。例えば、遠くから見るととてもきれいな服でも、だんだん近づいてくると、ソースをこぼした跡が見える服になっていたということがある。

次の図はどうだろう。



この図からは、仲のよいおじいさんとおばあさんの笑っている姿が見える。しかし、この絵にも、何かが隠れている。目をこらして色々な角度から見よう。図を百八十度回してみると、たちまちのうちに、この図はけんかをして言い争うおじいさんとおばあさんの絵に変わってしまう。つまり、見る角度によっても絵が変わるということだ。

このことは、日常、よく経験することだ。今、トランプの6と9のカードを見ているとしよう。よく見てみよう。

すると、6のカードが逆になって9になっていたりする。

私たちは、いつも一面のみをとらえて絵を判断している。しかし、見るときの距離・角度・中心に見るものを、ちよつと立ち止まって変えてみてはどうだろうか。そうすれば、新たな一面に気づき、多くのことを感じ取れるようになるだろう。